

101 名の新入生の皆様、入学おめでとうございます。本来ならば多くの父兄や来賓の出席のもと盛大な入学式が行われるはずでしたが、コロナの影響でささやかな簡略化された場になったことをお許しく下さい。

新入生の皆様の心の中は、新しい大学生活への期待よりも、これからの大学生活がどうなるのだろうかという、不安の方が多いのではないのでしょうか。しかし皆様の不安に対しては、我々教職員が一丸となって対応させていただきます。どうか心配せず有意義な学生生活を送っていただければと思っています。

本学は創立 95 年目を迎えた、日本で一番古い診療放射線技師の養成校です。この 95 年の間に診療放射線技師の仕事はどんどん増えました。さらに今年から診療放射線技師が患者に CT や MRI の造影剤の注射ができるようになるなど、仕事内容も変わってきます。それに対応して本校だけでなく全国の学校で、これまでと違った新しいカリキュラムで教育されるようになります。

今なお世界中でコロナが猛威を振るっていますが、コロナで入院すると、肺の X 線撮影、肺の CT 撮影が行われます。放射線診断によって初めてコロナ肺炎が正確に診断され、的確に治療されます。診療放射線技師の仕事である X 線撮影が、コロナの診療現場では不可欠なのです。

病院に来るのは病に苦しむ病気の人々です。皆様には患者を思う優しい心、患者に寄り添う姿勢がとても大切になってきます。大学では技術的なこと、専門的なことだけでなく、語学、コミュニケーション、倫理学など一般教養も学びます。これらは仕事と無関係に見えるかもしれませんが、毎日の仕事には社会常識・一般教養が欠かせません。

時代はどんどん進んでいます。皆様はこれから 50 年間以上仕事することになりますが、50 年後の医療が、50 年後の日本が、50 年後の社会がどうなっているか、誰にも予測できません。急速に進歩する医療技術に対応するには、自分で一生懸命調べ、自ら主体的に勉強する姿勢を身につける必要があります。大学時代

に「変化に対応できる知性」、「新しい時代、混沌とした社会に対応できる能力」を身につけてください。

本学は創設 95 年という長い伝統と多くの先輩が本学の財産です。新入生の皆様がこの伝統を発展させ、さらに良い素晴らしい大学にしなければなりません。

本学の建学の精神は、創立以来

「品性を陶冶し、有為の技術者を養成する」です。

皆様が品性に優れた、優秀な技術者になるように指導することが我々教職員の使命と考えています。

コロナが収束するまでしばらくの間、期待されていたクラブ活動や海外との交流などが制限されるかもしれませんが、皆様が本学において実り多い楽しい学生生活を送ることができることを確信しています。

2022 年 4 月 2 日

学校法人島津学園 京都医療科学大学

学長 遠藤 啓吾